

関係者各位

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

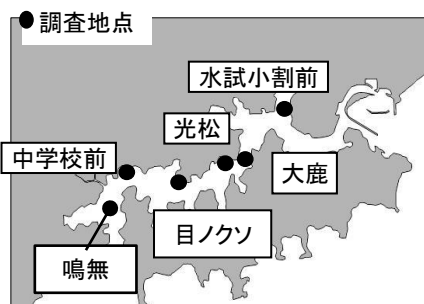
検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で38 cells/mL、シャットネラ属が最高で339 cells/mL、デイクチオカ属が最高で4,100 cells/mL確認されました。

デイクチオカ属及びシャットネラ属による赤潮が鳴無、光松及び大鹿で確認されました。また、シャットネラ属等の有害プランクトンの細胞数が漁業被害が想定される細胞密度を超えていますので、十分注意してください。海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/mL)

	水深	水温(°C)	塩分	溶存酸素量(mg/L)	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	デイクチオカ属
鳴無	2m	26.2	31.2	5.3	22	339	4
	5m	24.6	31.4	1.3	38	68	0
中学校前	1m	28.3	29.4	12.7	0	0	0
	5m	24.5	31.3	3.0	9	21	5
目ノクソ	1m	27.8	28.1	12.4	3	78	20
	5m	24.6	31.3	4.3	6	14	37
光松	2m	25.8	30.7	10.1	0	190	1,840
	5m	24.5	31.4	5.2	3	32	494
大鹿	2m	26.1	30.8	13.0	0	214	2,300
	5m	24.5	31.4	6.6	2	85	4,100
水試小割前	2m	25.6	30.8	11.4	0	0	205
	5m	24.5	31.4	7.6	1	34	3,050



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ： 数百～数千cells/mL（魚類等のへい死）
- ・シャットネラ属： 10～100cells/mL（魚類へい死）
- ・デイクチオカ属： 数千～cells/mL（魚類等のへい死のおそれ有り）